

# 高支持率クリニックに学ぶ成功に向けた7つの法則



7階建てで、病院顔負けの最新設備を備える同院。JR長崎駅から徒歩約5分とアクセスも良い

心臓・血管治療で九州屈指の実績を誇る、ながさきハートクリニックの坂井秀章院長



## 法則① 専門特化型

心臓カテーテル検査数・年間662件／経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ス  
テント留置術数・年間455件／静脈瘤手術症例数・2年間で総治療肢数994

## 九州屈指の心カテ、下肢静脈瘤治療実績

## 「何でも試してみよう」精神でユニークな広報活動

### 医療法人メディカル・セブンながさきハートクリニック

Speciality

#### Clinic Data

診療内容：循環器内科、心臓血管外科  
住 所：長崎県長崎市恵美須町4-1  
URL：<http://www.nagasaki-hc.com>  
立地特性：都市型

### 高い技量と最新設備、アクセスの良さで支持される

ながさきハートクリニックは、2007年末に本格オープン。翌年からは、心臓の冠動脈カテーテル（ステント）治療および下肢静脈瘤治療では長崎県はもとより、九州でも屈指の治療成績を誇る。7階建ての同院は、アメニティが充実した病室や64列CTなどを備え、並みの病院以上の最新設備を持つ。坂井秀章院長らの高い技量が最大のポイントであ

ることはいうまでもないが、開院までの紆余曲折の助走期間と、地方都市の診療所としては型破りともいえる広報戦略が成長を支えているのも大きい。坂井院長は自らの開業を「復活と表現する。

長崎の心臓・血管治療のレベルアップを目指すべく、坂井院長は最新の技術を引つ提げて帰郷。同志の医師らと同市内の民間病院に招聘され、瞬く間に大病院をしのぐ治療成績を収めるようになるが、病院の経営悪化による閉院という事態に直面した。しかし患者からだけでなく、病院側からも診療の継続を要請され、坂井院長は外来主体の「ハートクリニック」を旧病院の近隣で06年に開業。診療のかたわら、本格的な拠点づくりの構想を固めていった。

重視したのが立地だ。「長崎市は土地が潤沢ではないですが、専門医

療を提供する当院にとって、交通アクセスの良さがカギになると考えました」。そこでJR長崎駅から徒歩約5分という現在地を選定し、診療所にも病床規制がかかる直前だったため19床を申請。07年末に移転して現診療所名に改称した。「この間、当初の病院で一緒に働いていた看護師さんたちも待っていてくれて、ほぼ以前のチームのまま開院することができました。だから復活なのです」

心臓病専門の診療所として、救急患者は24時間体制で受け入れるとともに、外来は会社帰りでも受診しやすいように、午後の診療を18時から20時まで受け付ける。

こうした診療体制の充実の一方で、「もつと多くの人に当院の役割を認知してもらいたい」と、広報活動にも積極的だ。ホームページや広報誌による情報発信のほか、今年からはテ

レビCMを2種類制作し、同県下で放映している。また、旅行会社とタイアップしたバスツアーを企画。観光・食事に坂井院長による健康セミナーが付くという内容で、これまで日帰り旅行を5回開催し、いずれも好評だ。一定のリピーターもあり、同院の「ファンづくり」の面でも効果をあげているようだ。

「良いと思うものは何でも試してみるのが私の方針。当面の目標は外来数を現在の月約1500人から倍まで引き上げることです」

#### Passage of the theme

